

◆ 明けましておめでとうございます

明けましておめでとうございます

古賀市緑のまちづくりの会は、今年で、発足以来 20 年目を迎えます。

この間に古賀グリーンパークの植林などを達成し、手入れを続けることで森として充実してまいりました。園芸福祉活動では、図書館前花壇を始めとする市内各花壇では、花を欠かすことなく咲かせています。一方で、青柳小学校1年生とのどんぐり工作授業など実績を積んでいます。いずれも、誇りある活動です。

新年は、共に健康維持に留意・協力し、事故なく、地域貢献に努めたいと願っています。

古賀市緑のまちづくりの会 代表 宿理 英彦



◆ 好評・花壇は満開！



12月と思えない天候に恵まれた10日は、会員10名が“はなちどり”定例会に集いました。

皆さんは、JR古賀駅前、図書館前、はなちどり、花見眼科の各花壇に手分けして、花壇の手入れに集中しました。

4か所の花々は寒さに負けず咲き誇り、道行く方々から、しばしば「いつも、きれいな花を植えていただきありがとうございます」など、声掛けがあり、感謝を声にしつつ、市民の皆さんの注目度の高さを感受しています。

◆ 剪定地“つる切”終わる！

寒さ厳しい11月6日には、委託事業の古賀グリーンパークツツジ剪定地内のつる駆除が、完了しました。

この日は、6名の会員が集まり、直ちに、作業に取り掛かり、ツツジ内に根付く、つるの根を探しだし、根を掘上げ、次々と切り取りました。

また、鳥が運んで発芽した木や、林に立ち上がる草共々刈り取りました。作業は、歩きにくいツツジ林に入り込んでのつる切りでしたが、皆さんは、淡々と作業を進め、清掃をして終わりました。



◆ 千鳥苑前に“冬”の花植える！



冬の始まりの11月は、冬から春にかけて咲き続けるパンジーなどの植え付け時期です。

11月26日は、恒例となった千鳥苑の玄関先花壇に、パンジー、ピオラを、プランターには、キンギョソウを堆肥と肥料を撒き込んで、植え付けました。

会では、例年、同苑花壇に、夏にはマツバボタンを植え、冬には主としてパンジーを植え込み、千鳥苑を訪れる利用者の目を楽しませています。

◆ 拠点花壇に花が咲く

“はなちどり”定例日の11月26日には、10名の会員が集いました。

朝の打ち合わせで、この日の作業が決まると、皆さんは、手早く作業に取り掛かりました。

この日は、ハウスに隣接する花壇に堆肥と肥料を入れ、畑を耕し、ピオラ、パンジー、ハボタン、アリッサム、チューリップ、ムスカリ、シレネと多彩な花を植え込みました。花壇は、色彩豊かな花壇になり、訪れる皆さんに喜ばれる花壇となることが、期待されます。



◆ 公園の“彩”鮮やか！

ここ近年、古賀グリーンパーク内の紅葉が、彩鮮やかになりました。秋になると“紅葉だより”が聞こえますが、古賀グリーンパークの人工広葉樹の森は、平成14年3月に林植が始まり、10年後の23年に植林を終わり、近年は、紅葉が広く見えるようになりました。

最後の植林地でも、今年10月以降に除伐した効果もあり、一段と鮮やかな紅葉を見ることができました。

訪れる方々が、輝いた紅葉を見ることができると期待しています。



元年12月7日撮影

◆ 1年生と心通じた4交流！



11月6日から続いた、当会と青柳小学校1年生との交流が、11月に4回実施され、無事終わりました。

交流は、6日のドングリ拾いに始まり、途中、先輩が育てた苗を植えた「青柳小ドングリの森」を観察しました。2回目は、ドングリでコマとヤジロベエを作り、次は、芋堀で焼き芋を楽しみました。最後は、校庭3か所の花壇に、シクラメン、チューリップ、パンジー、ピオラなど子ども達と植え付けました。

子ども達との交流で、心の通じた4日間でした。

◆ 松飾づくりに着手

11月27日に5名の会員の手で、来年の松飾の器になる竹材を7本伐って、はなちどりに運び事前準備をしました。

今年の松飾は、筒形に統一して、会員用に20個、今の庄地区のイベント用として、30個を目標に着手しました。12月1日は、2名の手で、加工に着手し、この日22個を作りました。

12月10日の午後は、4名で引き続き作業を続け、12月24、25日にそれぞれの場所で、出来映え豊かな松飾に仕上げていました。



四方山話

ある日突然ではない

宮沢喜一元首相は、著書「新・護憲宣言」で戦時下を回想し、このように書いています。「自由は、ある日突然なくなるものではない。それは、目立たない形で徐々に蝕まれ（むしば）まれ、気が付いた時には、すべてが失われている。」と。

元首相は、当時の軍部の強権を指したものでしょうが、私たちは、この「ある日突然ではない。」という言葉は、常に意識しておくべきもののような気がします。

前述の戦時下での自由の有無もそうですが、海洋汚染のマイクロプラスチック問題やとんでもない雨や風を伴った台風なども「ある日突然ではない。」と思うからです。プラスチックごみをポイ捨てした積み重ねが海洋汚染につながり、快適だから、便利だからと言って、温暖化を助長する生活の仕方が海の温度を高め、本来ならば、冷たい海水により勢力が衰えるはずが、衰えずにとんでもない台風のまま陸地に到達していると思うからです。つまり、私たちの生活の仕方が「目立たない形で徐々に環境を蝕んできた。」そんな気がします。

良いこと、楽しいことだって「ある日突然。」じゃないと思います。森の中の遊歩道だって、苗木を育て下草刈りや間伐、除伐などの積み重ねの絶え間ない活動があるから生まれます。生活習慣病だって、ある日突然悪くなったり、よくなったりすることはありません。そんな訳で今年も健康、環境を意識して、一日一日の積み重ねを大切に過ごさねばならないと思います。

長谷川 靖